

富士ゼロックスの
ものづくりは、
ネジをはずすことから
はじまる。

リユース品質を支える設計思想

製品は、分解すると部品になる。富士ゼロックスは、使用済みの機器を貴重な資源と捉え、最大限有効活用。再使用することを前提に、新商品の設計を行なっています。このようなCO₂削減を目指す独自の環境哲学により、部品リユースを中心とした「資源循環システム」を構築。2000年度～2007年度の累計では、154,150t-CO₂ものCO₂排出量抑制を実現しました。また、環境負荷低減と共に質の高いものづくりを徹底するため、さまざまな再使用ノウハウを蓄積。より丁寧で簡単な解体を可能に。最新機種にも分解設計を採用するなど、リユース品質を追求しつづけています。リユース部品活用生産台数は、1996年度～2007年度までの累計で、30万台を突破。「もう一度つかう」は、「新しくつくる」より、はるかに創造的だ。私たちが製品と共につづけているのは、CO₂を抑えるしくみです。

減らせ、CO₂
環境哲学
富士ゼロックス